

★ 岸良ウミガメ調査隊

かごしま水族館 学芸員 かしわぎ ゆかり 柏木 由香利さん

砂浜に残る、5 分間の脱出ドラマ



▲砂浜に残された子ガメの足跡

今年も辺塚・岸良海岸ではアカウミガメの産卵がたくさん確認できました。ウミガメの卵は1つの巣の中に約100個あり、約60日かけて孵化します。しかし海に出られる子ガメは50匹いれば良い方です。特に最近は梅雨明け後に砂がどんどん熱くなってしまう卵がだめになってしまふことが多くなっています。熱くなつた地面をぐつと冷やすのは夏の夕立。卵にとって恵みの雨となり、命を繋ぐ大切な役割をしています。



8月の終わり、昼間の暑さがやわらいだ真夜中。地表面がザワザワと動き、20〜30匹の子ガメが顔を出します。そして我先にと海をめぐけて浜を駆け下りていきます。それは一晩のたった5分くらいのできごと。それが数晩続き子ガメの旅立ちが終わります。

夜が明けた砂浜を歩くと子ガメの足跡を見つけたことができます。海へ向かう無数の足跡は朝日に照らされとても美しいです。今年も猛暑に負けず、たくさんの子ガメたちが大海原へ泳ぎ出してほしいと思います。

キミの提案が町を動かす「第2回 肝付町子どもサミット」開催

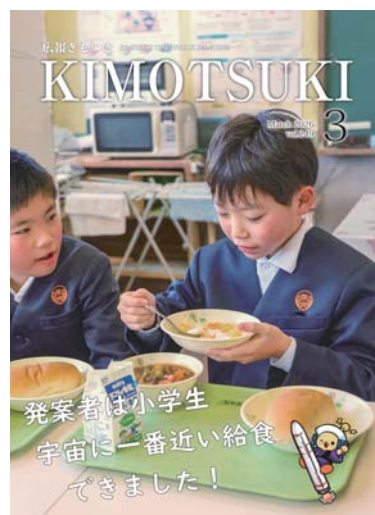
今年の1月、町内全10校の給食に登場して子どもたちを大喜びさせた、宇宙食ゼリー入りの特製デザート「ムーンショットポンチ」を覚えていませんか？ 実はあの給食、昨夏の『第1回子どもサミット』で、森田羽玖さん（当時波野小学校6年生）が「宇宙をもっと身近に感じられる町にしたい」と提案したことから実現した夢のメニューだったのです。

子どもたちの自由な発想が、町の未来をより良く動かす「一歩」となる場所。そんな子どもサミットが、この夏、再び開催されます！

今回のテーマは「承継創造によるウェルビーイングな肝付町」。町内10校の小・中・義務教育学校から集まった各校の代表児童・生徒たちが、一生懸命準備した提案を発表し、熱い意見交換を行います。

ここから、また新しい「きもつきの未来」が動き出すかもしれません。当日はどなたでも自由に客席から傍聴いただけます。子どもたちの真っ直ぐな眼差しと本気の横顔を、ぜひ会場へ応援しに来てください！

- 日時 令和8年8月20日（木）13時15分～15時40分
- 場所 肝付町文化センター 大ホール



▲広報きもつき3月号でご紹介した「宇宙を感じる給食」



お問い合わせ先 肝付町役場 教育総務課 ☎0994(65)8425